

# 県内経済動向調査結果(平成21年4月分)

平成21年6月8日  
産業経済政策課

## 概 況

県内経済は、製造業で一部下げ止まりの兆しが見られるものの、生産の減少が続いており、総じて厳しい状況となっている。

主な業種	状 況
製 造 業	一部に下げ止まりの兆しが見られるものの、減産が続き低迷している 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比31.7%減、同32.8%減となった。3か月先の業況見通しDIは▲4.9から4.8となった。
建 設 業	厳しい状況が続いている 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比0.1%減、同15.4%減となった。3か月先の業況見通しDIは▲53.3と変わらない。
小 売 業	引き続き弱い動きとなっている 売上高は前年同月比で1.5%増、3か月先の業況見通しDIは▲50.0から▲22.2となった。
サービス業	運輸業や旅館・ホテルを中心に低調となっている 売上高は前年同月比9.0%減、3か月先の業況見通しDIは0.0から▲3.7となった。

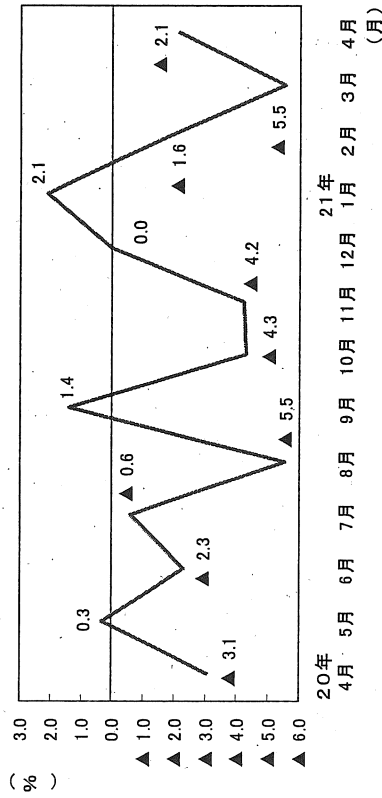
# 製造業の動向

## 1 食料品

### 弱い動きが続く

生産額は前年同月比2.1%減。3か月先の業況見通しDIIは▲42.9から▲28.6となった。  
 酒類では、5月連休前の前倒し受注等により前年同月比増となっている企業も見受けられるものの、前年比4.4%減となっており、消費者の嗜好の多様化による日本酒離れや経済状況の悪化による全体的なマイナスイラスト基調は変わらない。酒類以外では、業種を問わずギフト向けの商品で落ち込んでいる。

食料品生産額前年同月比

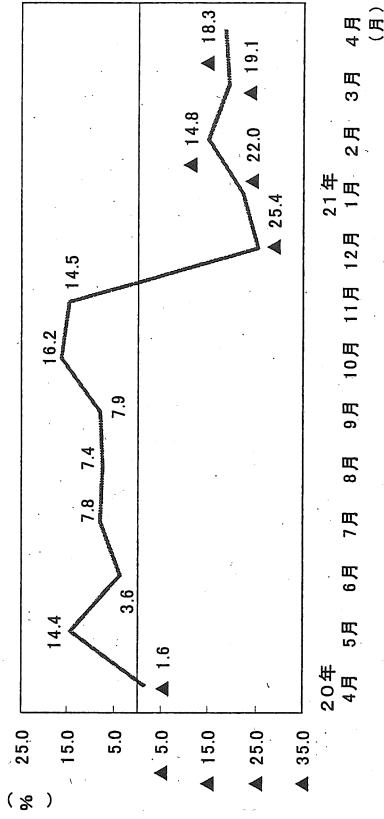


## 2 繊維・衣服

### 低調な生産活動が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比18.3%減、同28.3%減。3か月先の業況見通しDIIは▲83.3と変わらない。  
 景気悪化による消費の冷え込みで、低調な生産活動が続いている。衣料市場において低価格帯の商品に注目が集まっている中で、百貨店での売上が悪化しているほか、商品の値下げを実施している企業も見受けられる。雇用調整のため、4月末からのゴールデンウィーク期間を長期間休業した企業もある。

繊維・衣服生産額前年同月比



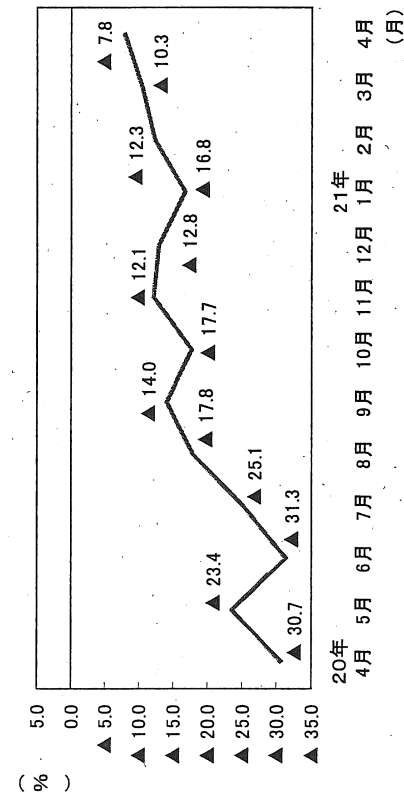
3 木材・木製品

20カ月連続マイナス、厳しい状況が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比7.8%減、同2.6%減。3か月先の業況見通しDIは8.3から16.7となった。

全国的に住宅市況が低迷していることから、合板、集成材で低調な生産活動が続いている。生産調整のため一部工場の操業停止や休業による雇用調整を行っている企業もあり、依然として厳しい状況が続いている。

木材・木製品生産額前年同月比



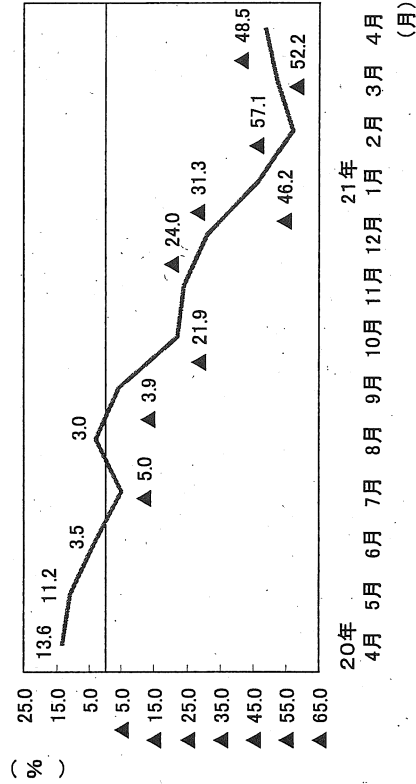
4 鉄鋼・金属製品

低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比48.5%減、同39.4%減。3か月先の業況見通しDIは10.0から9.1となった。

電気機械関係では、一部の自動車部品関連において回復への動きが見られるものの、前年比5割以上の減産となっている企業も多く、総じてみれば低迷している。この間休業を実施している企業も見受けられる。

鉄鋼・金属生産額前年同月比



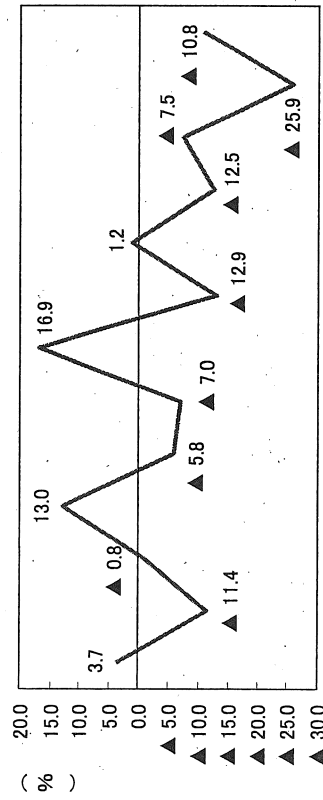
5 一般機械

悪化している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比10.8%減、同34.1%減。3か月先の業況見通しDIは▲42.9から0.0となった。

プラント設備関連では、先月に引き続き一部県外公共工事やエネルギー関係など大口案件の受注により増産している企業が見受けられる。一方、一般産業機械では、自動車業界の冷え込みなどの影響を受け引き続き生産が減少しており、総じて見ると悪化している。

一般機械生産額前年同月比



20年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月  
21年 (月)

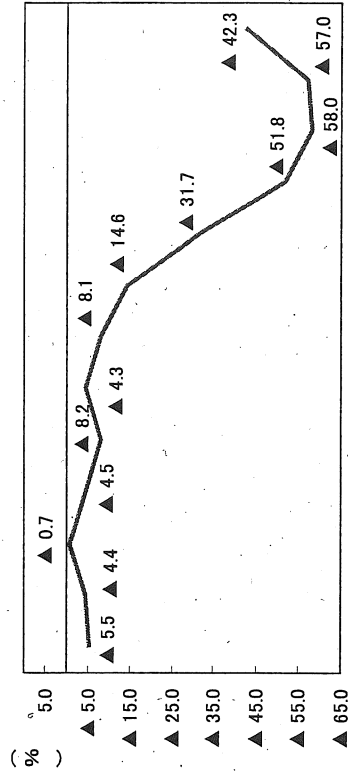
6 電気機械

一部下げ止まりの兆しが見られるが、減産が続く

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比42.3%減、同42.5%減。3か月先の業況見通しDIは33.3から31.6となった。

基板では、一部で引き続き好調となっているほか、コンデンサーなどで下げ止まりの兆しが見られるものの、総じて見れば、減産が続いている。

電気機械生産額前年同月比



20年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月  
21年 (月)

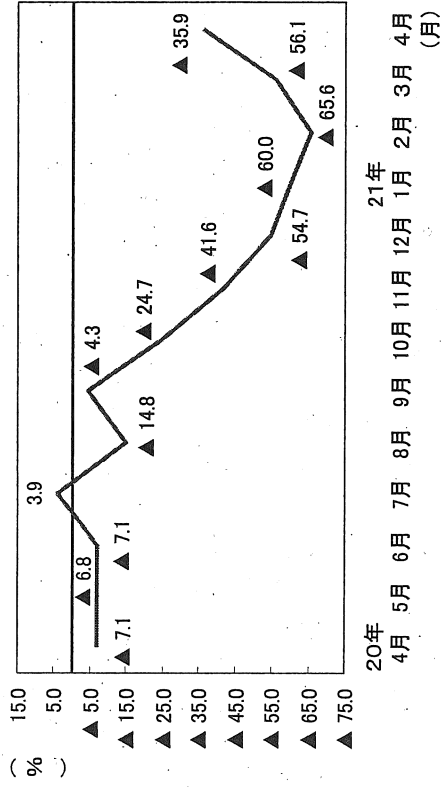
7 輸送機械

減産が続き、低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比35.9%減、同33.7%増。3か月先の業況見通しDIIは28.6から71.4となった。

自動車の販売不振から品目にかかわらず2割～6割程度の減産となっており、低迷している。操業停止日や休業日を設け減産に対応している企業も見受けられる。

輸送機械生産額前年同月比



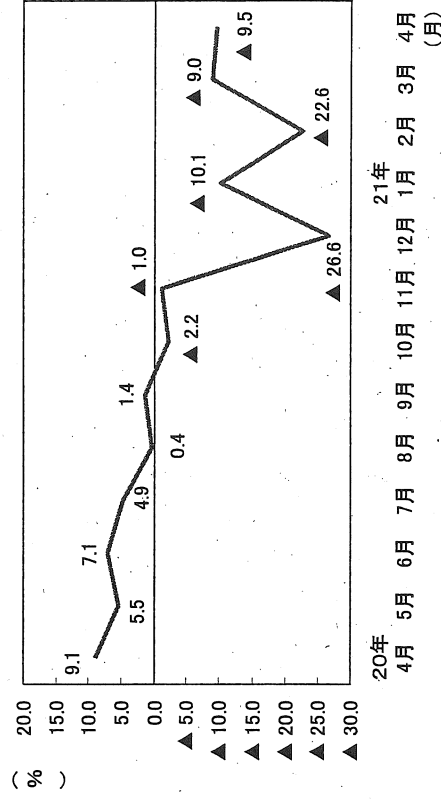
8 精密機械

低迷している

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比9.5%減、同6.1%減。3か月先の業況見通しDIIは0.0から▲12.5となった。

医療機器関連では前年並みの水準を維持したものの、弱含みで推移している。光学部品、計量関連などの他品目においては生産が低迷しており、工場の稼働日の制限による生産調整を行っている企業も見受けられる。

精密機械生産額前年同月比



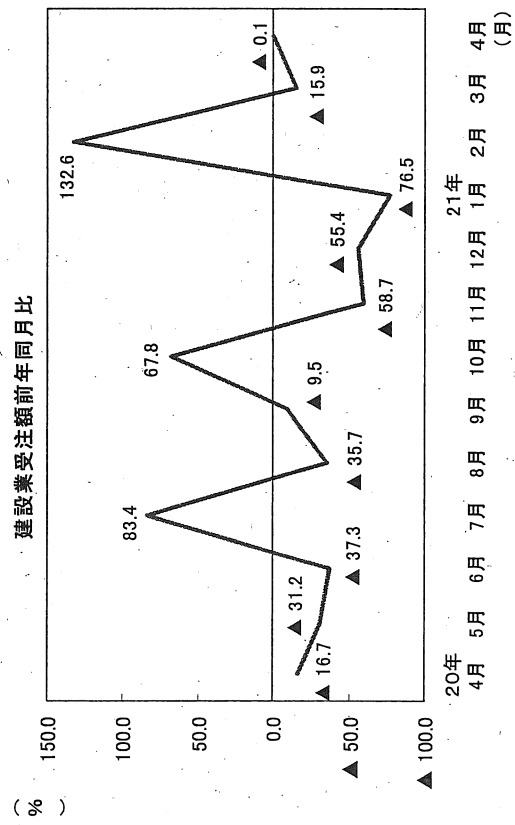
## 建設業の動向

### 建設業

#### 厳しい状況が続く

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比0.1%減、同15.4%減。3か月先の業  
況見通しDIIは▲53.3と変わらない。

経済対策としての公共工事の前倒し発注の効果もあり、受注額は前年同  
月比並みになっているものの、受注競争の激化等により、収益率が低い状  
況となっている。一部従業員を休業させる企業もあり、業界全体として厳し  
い状況は続いている。



# 小売業の動向

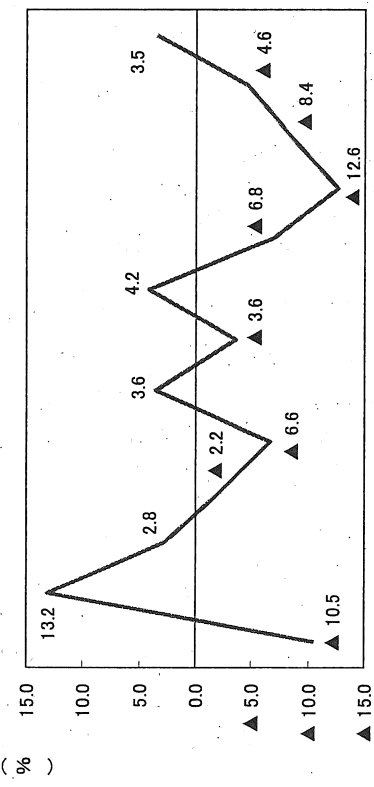
## 1 衣料品

### 客数、客単価の減少傾向が続く

売上高は前年同月比3.5%増。3か月先の業況見通しDIは▲60.0から▲80.0となった。

紳士服の売上が増加した企業もあるものの、客数、客単価の減少傾向は続いている。

衣料品売上高前年同月比



20年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 (月)

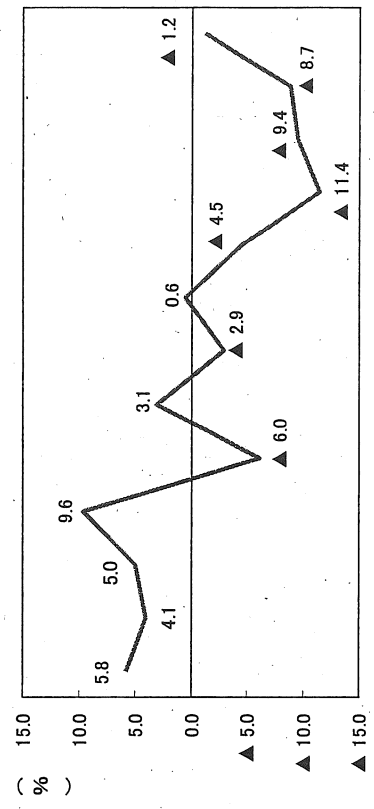
## 2 身回品

### 売上の落ち込みが続く

売上高は前年同月比1.2%減。3か月先の業況見通しDIは▲50.0から▲33.3となった。

ホームセンターにおいて、園芸用品、建築資材等で売上を伸ばした企業もあるものの、特価商品以外は売上が伸びない状況となっている。総じて見れば消費者の買い控え傾向により、売上の落ち込みが続いている。

身回品売上高前年同月比



20年 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 (月)

3 飲食料品

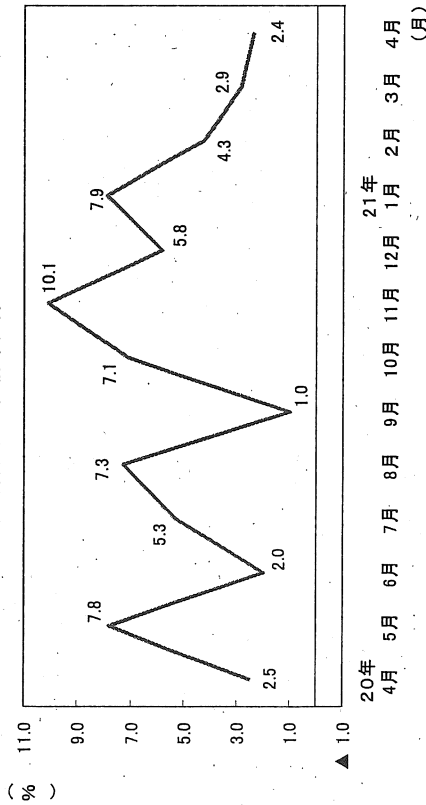
底堅い売上が続く

売上高は前年同月比2.4%増。3か月先の業況見通しDIIは▲60.0から▲9.1となった。

酒類では売上が低調であるものの、スーパーでは売上を伸ばしている企業もあり、飲食料品全体でみると底堅い売上が続いている。

一方で、競合店との競争激化等により収益性の悪化している企業も見受けられる。

飲食料品売上高前年同月比



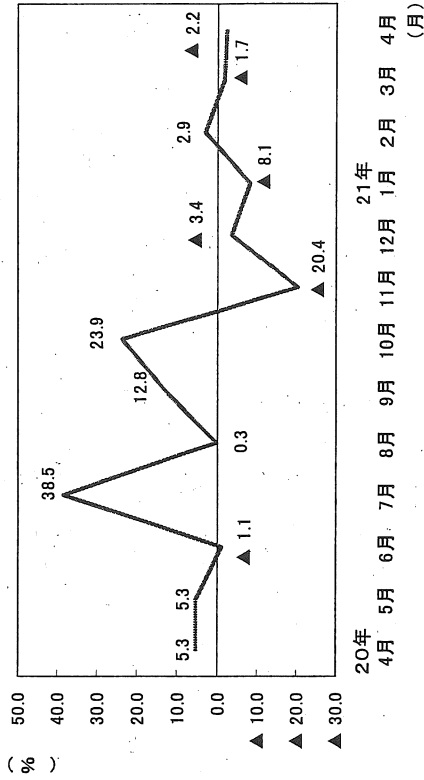
4 家電品

やや弱い動きとなっている

売上高は前年同月比2.2%減。3か月先の業況見通しDIIは▲20.0から20.0となった。

薄型テレビ、カーナビ、DVDレコーダーの売上は堅調に推移している。農業従事者の多い地区では、農繁期であることから売上が伸び悩んでいる企業もあり、総じて見るとやや弱い動きとなっている。

家電品売上高前年同月比





# サービス業の動向

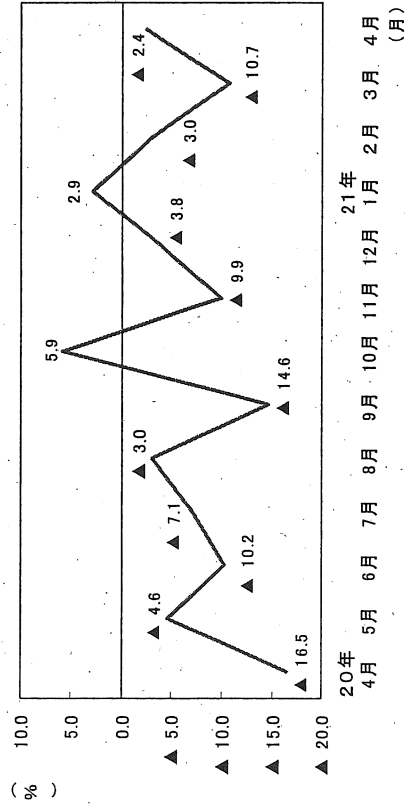
## 1 旅館・ホテル

厳しい状況が続く

売上高は前年同月比2.4%減。3か月先の業況見通しDIは7.7から0.0となった。

花見客等による観光客の増加により宿泊部門の売上が好調であった企業も見受けられるものの、歓迎会の件数の減少により宴会部門での売上が減少している企業もあり、総じてみると低調な動きとなっており、厳しい状況が続いている。

旅館・ホテル売上高前年同月比



## 2 その他サービス

運輸業で低調となっている

売上高は前年同月比12.4%減。3か月先の業況見通しDIは▲10.0から▲7.7となった。

道の駅では、ETC割引の効果により客数の増加は見られるものの、客単価が低いことなどにより、売上の増加に大きく貢献するまでとはなっていない。

運輸業では、景気悪化によるタクシー客の減少、自動車関連部品貨物の減少により低調な動きとなっている。

保険では、企業分の落ち込みや、契約内容の見直しの動きが顕著であり、弱い動きとなっている。

その他サービス売上高前年同月比

